

令和5年4月定例教育委員会会議録

- 日 時 令和5年4月24日（月）10時00分～11時02分
- 出席委員氏名 松本教育長、酒見委員、山口委員、西山委員、藤田委員
- 出席を求めた事務局職員
教育部長（梶原）、教育副部長兼教育総務課長（川口）、
学校教育課長（杉原）、生涯学習課長（伴）、市民図書館長（鴻上）、
スポーツ課長（金子）、国スポ・全障スポ推進課長（松尾）
- 議案等 議案第12号 県費負担職員のもみの木学級での指導について
議案第13号 「令和5年度伊万里市の教育」について
報告第3号 伊万里市教育委員会事務局組織規則の一部を改正
する規則の制定について
- 傍聴者 なし
- 開会 ただ今から令和5年4月の定例教育委員会を開催します。本日は私のほか、委員全員ご出席いただいておりますので、本会は成立となります。
- 議事録署名者の指名 山口委員、藤田委員
- 教育長 前回会議録の報告・承認に移ります。まず報告をお願いします。
- 事務局 3月定例教育委員会の概要を報告します。3月24日（金）、教育長及び3名の委員の出席のもと、第3会議室において開催しました。議事録署名者として、酒見委員、西山委員を指名し、前回会議録の報告を求め、承認をしたあと、教育長の報告を受け、議案・議事の審議に入りました。
はじめに、議案第7号令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について審議し、質疑応答のあと原案どおり決定しました。
つぎに、報告第2号令和5年伊万里市議会第1回定例会議案に対する教育委員会の意見について、報告を行いました。
続いて、報告事項令和5年伊万里市議会第1回定例会について報告を行い、さらに、4月定例教育委員会の日程について協議し、4月27日木曜日13時30分から第3会議室で開催することとしましたが、後日日程を調整した結果、本日4月24日月曜日10時から、大会議室で行うこととしました。

最後に、議案第 8 号伊万里市スポーツ推進委員の委嘱について、議案第 9 号伊万里市教育委員会感謝状の贈呈について、議案第 10 号令和 5 年 4 月 1 日付け人事異動について、議案第 11 号令和 5 年度会計年度任用職員の任用についてを非公開で審議し、質疑応答のあと、原案どおり決定し、閉会しました。以上、前回会議録についての報告でございます。

教育長

以上、前回会議録についての報告がありました。ご質問等はないでしょうか。(なし。)

質問等もないようですので、ただ今の報告のとおり承認してよろしいでしょうか。(はい。)

前回会議録については承認とします。

教育長

次に教育長の報告です。4 月に入り、教育委員の皆さんには出席してもらうことが多かったと思います。3 日の辞令交付はありがとうございました。歓送迎会も、久しぶりに 4 月に教育委員会全体で開催できました。11 日の中学校入学式と、そのあとの感謝状贈呈式にも委員の皆さんにはご出席いただき、退職された先生方に感謝状をお渡しする事が出来ました。翌 12 日は小学校入学式がありました。小学校 1 年生が学校に通う姿は何とも言えないものがあります。SAGA2024 の実行委員会にもご出席いただきました。いよいよ今年度はリハーサル大会がありますので、応援をお願いできればと思います。14 日には酒見委員と一緒に、県市町教育委員会の協働会議に行っていました。終了後に情報交換会がありましたが、落合教育長は、教育長になられて初めて情報交換会ができたと言われており、毎年、開催しようと言いつけておられましたが、やっと開催できたことを喜んでおられました。先週末は全国市町村教育委員会連合会の常任理事会のため東京へ行ってきました。8 月に九州地区の市町村教育委員会連合会の研修大会を開くということで全国の会長や事務局長と話していた中で、今回、石川県の全国の会長も、九州大会にお見えになるという事でした。教育委員の皆さんにも、参加の方をお願いすることになると思います。この前、県の実行委員会役員会の中で、佐賀県内の他の市町も含め、どう関わっていくかという話がありました。昨年度 8 月に伊万里市で開いた九州地区の総会、その総会の形はそのままで今年も伊万里市にお願いしたいと言われていたので、初日の 3 日の午前 11 時からの総会は伊万里市教育委員会、教育総務課を中心に行いますと話してきました。その日の

午後が研修大会ですが、そちらの運営・準備は佐賀市教育委員会にお願いをします。次の総会で正式に決定しますが、そのような形で行うよう話しています。総会報告の後にあいさつがあり、文科省の行政説明がありますが、その内容は部活動の地域移行という事で、本部の方にもお願いをしてきました。スポーツ庁から来てもらうことになるかと思いますが、文科省で調整して人選をするということでした。そのあとは講演会がありますが、今回はキッズミュージカルをするということになっています。1日目は研修大会が終わったあとそれぞれ宿舎に戻られますが、宿舎は佐賀市内の駅周辺に確保しています。そのあと情報交換会がありますが、人数を200名程に絞っています。そして、他県からの希望者を募って、その結果によって佐賀県からの参加者数を調整します。それは翌4日の視察研修も同じで、バス5台の準備を予定しています。視察研修が終わったら午前中で解散となります。また具体的に決まりましたら、お伝えします。それから、21日に、私が不在の時でしたが、鍋島ギャラリーの来館者が5万人に達しまして、セレモニーをしてもらいました。その時は市長も不在でしたので、長谷川館長に対応していただきました。4月はいろいろな会議等があり、5月も続くのかと思いますが、委員の皆さまよろしく申し上げます。

私からの報告は以上です。ご質問等はありませんか。(なし。)

教育長

それでは、議案・議事の審議にはいります。本日は議案2件、報告が1件となっています。議案第12号県費負担職員のもみの木学級での指導について、事務局より説明をお願いします。

生涯学習課長

(議案第12号について説明。)

教育長

ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

西山委員

この学習に参加したことも見学したこともありませんでしたので、とても分かりやすい説明でした。もし可能であれば、小学校、中学校1回ずつでもいいですので、実際の場面を見学させていただきたいと思いまので、そういった機会があったら教えてください。

教育長

成果発表の時でもいいかもしれませんね。何か対応をお願いします

ます。

生涯学習課長 ご案内させていただきます。

教育長 他にご意見等はありませんか。(なし。)

それでは、議案第 12 号についてご異議は無しということでしょうか。(はい。) それでは原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 13 号 「令和 5 年度伊万里市の教育」について、説明をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長 (議案第 13 号について説明。)

教育長 それでは、伊万里市の教育につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

山口委員 今後の教育施策に関する基本的な方針の中で、教育デジタルトランスフォーメーションの推進というものがわかりづらく、これから ICT の活用などが進んでいく中で、何か大きな変革のようなものをお考えになっているのか、大まかで構いませんので、計画のようなものがあるのであれば、教えていただきたいです。

教育副部長兼教育総務課長 今回、文部科学省の答申の概要版が、文部科学省のホームページに載っています。その内容について簡単にご説明します。教育デジタルトランスフォーメーションの推進につきましては、それに至る 3 段階ということで、まず第 1 段階が、これまで紙媒体だったものを電子化する、第 2 段階が、それを最適化する、第 3 段階が、新たな価値において第 3 段階を見据えた第 1 段階から第 2 段階への移行の着実な推進を図るということでございます。こうした電子化から最適化への移行を図ることが教育デジタルトランスフォーメーションの一つ目に書かれています。二つ目ですが、GIGA スクール構想があります。ひとり 1 台のパソコンと、高速通信の整備であります。情報活用能力の育成、校務 DX を通じた働き方改革、教師の ICT 活用、指導力の向上など、DX 人材の育成を推進すると書かれています。その他、教育データの標準化や、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進などが書かれています。

山口委員 まずは第1段階の紙を電子化という所で言えば、時代がそのように変化しているんですね。私は ICT の利活用で何か変化があるのかと思っていました。

教育長 どちらかと言えば、ICT の利活用は変化というよりも、もっと進めてほしいという事だと思います。そのスタートで、先ほどの説明での電子化という部分は、端的に言えば教科書はデジタル教科書にしましょうとか、そういうものを想定しているのだろうと思います。ここに書かれている5つの答申重点がありますが、基本的な方針に沿った形で、今後文科省は予算要求していくでしょうし、当然地方もそれに沿っていくことになると思います。

山口委員 カーボンニュートラルなどの問題もありますし、時代がそのような方向に進んでいるという事ですよ。

教育長 教育界でよく言われるのは、紙だからこそいい、というものの中にはあり、本当にデジタルだけでいいのかといった議論も今後なされていくのだろうと思います。基本計画は5年後、10年後を見据えて変えていくようになりますので、今何をすべきなのかといった具体的な部分がなかなか見えにくいところもあります。

藤田委員 教育DXに関連していますが、ひとり1台のパソコンについて、大規模校では通信が遅くみんなで同時に使うことができないという事を以前聞いたことがあるのですが、そのあたりの整備はどのくらい進んでいるのでしょうか。

学校教育課長 立花小では、1年前と比べるとはるかに回線が早くなっていたので、整備が進んではいますが、どこまで進んでいるのかの具体的な部分までは把握できていません。

藤田委員 学校訪問をしたときに、小規模校の子どもたちはどの教室でもパソコンを使っていたので整備が進んでいるんだと思いますが、私の子に聞いたところ伊万里小学校ではあまり使わないと言っていたので、学校の規模により差がついてくるのかと思ひ、整備が進んでいけばいいと思いました。

教育副部長兼教育総務課長 学校教育課の係長と話をした時も、通信の遅延はかなり改善してきていると聞いています。

酒見委員

高校も規模的には大規模となりますが、すんなり繋がったかといえば、やはり数年かかったみたいですね。最初は問題もいろいろあったようですが、少しずつ解決していき、年々よくなっていくのだと思います。

教育長

私がこの基本方針案をもらって思ったのが、国が出した方向性を受け、伊万里はどうするのかという部分をここに載せるべきだと思います。あと、これだけは入れてほしいとお願いしたのが「主体性を大事にしながら」という文言です。令和の日本型学校教育が出されたときに、そうだと感じたのが、「教師は指導者ではなく伴走者なんだ」という部分です。子どもたち主体でどう学びを作りあげていくか、というところに教師がいないといけません。では教師はただ横にいればいいのかというとそうではなく、専門性が当然必要になってくるわけで、そういった教育になっていくべきだと思います。待つのではなく、自分から学びに向かっていき、実際にやっていくという主体性がこれから大事になると思います。学校も地域も家庭も、国がこう言っている、県がこう言っている、だけで終わるのではなく、では自分たちはどうするかという考えを持っておくべきだと思います。それからもう一つ、伊万里市の教育の作成日程がもう少し早まらないかとも思いました。令和5年度版であれば、せめて4月あるいは5月連休明けくらいにできないかと思っていたのですが、予算決算の関係や、資料集の数字も5月1日で変わる事もあり、それらの数字がきっちり固まってからとなると、どうしてもこのような時期になってしまうということで説明は受けています。なるべく早く作り上げるようお願いしているところです。

他に何かありませんか。

西山委員

方針の最後、今までは「基盤整備」で終わっていたところが、「基盤整備・対話」となっています。対話は大切な事でもありますし、今までの話につながっていく部分もありますが、どういう事を対話と考えるのか、具体的にどういう事を進めていくのか、場面・想定みたいなものがもし今の時点で少しでもあれば、今回ここに対話を追加された理由と併せてお聞かせいただければと思います。

教育副部長兼教育総務課長

概要版の中では、各関係団体や関係者、これには子どもも含む

のですが、そういった団体等との対話を通じた計画の策定等を進めていく事が重要だと書かれています。

西山委員 整備するだけでなく、そのあとの立証・検証するための関係作りのために、対話を大事にしようという事で加えられているという考えでしょうか。

教育副部長兼教育総務課長 PDCA サイクルというものがありますが、検証する中で、教育委員会だけではなく、子ども会やPTA、地域などのご意見を聞きながら、次の計画に活かしていこうという事だと思います。

教育長 西山委員が言われたような事について、文言や考え方を入れ込むことは出来ないでしょうか。

西山委員 主体性を大事に、という部分の前に、学校・家庭・地域を相互に繋ぎとありますので、ここに対話があるんだと考えていいんでしょうね。

山口委員 5 ページに「コミュニティ・スクールによる地域全体で子どもを育む、地域ぐるみの教育の推進に務めます」とありますが、実際に、学習会や勉強会などそういった活動が進んでいる地域というものはあるのでしょうか。その地域の特色と言いますか、たとえば南波多であればタイワンスバメシジミなどがあると思いますが、それ以外にも子供たちの学び、学習をやってくださっている地域がほかにあるのでしょうか。

学校教育課長 昨年度は伊万里中学校校区に勤務していましたので、その中で聞いたものを例にあげますと、大川内では地域と一緒に焼き物などの学習が進んでいるという事で紹介がありました。そういった話を聞くことで、他の学校も刺激を受けていた部分もありました。

山口委員 そこは地域の特色で、大川内だから焼き物の体験などをされたと思いますが、特別に、学習会のようなものはあっていないのでしょうか。

教育長 地域で立ち上げてという事でしょうか。例えばもう閉校しましたが、滝野では退職された先生が子どもたちを集めて学習会をや

っていました。学校教育課でやっている放課後学習会も、地域からそういった方を指導者として招いてやっています。ただ、地域でコミュニティ・スクールとして、というものはまだ見えていないのかもしれませんが。ただ、西山委員に行ってもらっている NPO など、そういったものと連携し合えばいいのかなと思います。

山口委員 コミュニティ・スクールとしては、そういった目標のようなものはあるのでしょうか。

教育長 これまでは、今おっしゃったような活動がどこの学校でもあります。例えば立花なら米作りなど。それらを、学校主体から地域と一緒に運営協議会でやっていこうと話している段階です。そこから広がっていけばと思います。

酒見委員 黒川であれば、うちどくがイメージとしてあがってきます。

教育長 まさに黒川は地域主導ですよ。組織もしっかりしています。他にありませんでしょうか。(なし)

それでは、令和 5 年度伊万里市の教育の第 1 章については、この文言で決定してよろしいでしょうか。また、6 ページについてもよろしいでしょうか。次回、第 2 章についてご提案をさせていただきますが、なるべく早い段階で皆様方にお届けするようになりたいと思いますので、お目通しいただき修正等も考えていただいて、次回またお願いしたいと思います。その中で、もし本日の部分に関しても何かありましたら次回出させていただくとしまして、本日は 4 ページから 6 ページまでの方針について、ご承諾をいただいたという事でよろしいでしょうか。(はい)

教育長 次に、報告第 3 号伊万里市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について、説明をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長 (報告第 3 号について説明。)

教育長 それでは、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

酒見委員 競技 1 係、2 係は、取り扱う競技・種目が違うのでしょうか。

国スポ・全障スポ推進課長 競技 1 係についてはメインの種目がホッケーと軟式野球、2 係

についてはオープンウォータースイミングとビーチバレーボール、このように2つに分けてやっていきたいと考えています。

教育長 フライングディスクは両方でしょうか。

国スポ・全障スポ推進課長 フライングディスクは2係を中心にやっていこうと思います。競技自体は1係と2係で協力してやりますが、業務の進行管理などがありますので2つの係に分けているところです。

酒見委員 事務分掌は同じのようですね。ただ競技が違うという事ですね。

国スポ・全障スポ推進課長 事務分掌は同じです。

教育長 他にございませんか。(なし)
ないようですので、議案・報告の審議を終わりたいと思います。次に、その他に移ります。初めに、次回定例教育委員会の日程について事務局からお願いします。

事務局 次回の定例教育委員会は5月25日(木)13時30分から第3会議室で開催したいと思いますが、如何でしょうか。

教育長 よろしいでしょうか。(はい。)それでは、次回は5月25日(木)13時30分から第3会議室で行います。
次に、行事予定等の事務連絡を順にお願いします。

教育副部長兼教育総務課長 (行事予定等について説明)
生涯学習課長 (行事予定等について説明)
スポーツ課長 (行事予定等について説明)
国スポ・全障スポ推進課長 (行事予定等について説明)
市民図書館長 (行事予定等について説明)
学校教育課長 (行事予定等について説明)

教育長 行事予定等の事務連絡がありました。ご質問・ご意見等はありませんか。

教育長 国スポ・全障スポ推進課の予定で、ビーチバレーボール体験会は、やったことがない人にしてもらおうものではないでしょうか。

国スポ・全障スポ推進課長 5月1日から各班回覧にてチラシをお配りする予定としておりまして、興味のある方は参加をしていただきたいと思っているのですが、特にイマリンビーチに近い青嶺中学校、黒川小学校、波多津小学校と、市内の高校には個別に参加を依頼したいと思っています。

教育長 ほかにありませんか。

酒見委員 退職校長会の総会は、今年は5月13日に行われます。今日の午後もその理事会があるのですが、今年までは、来賓の方までのご案内しないという事になりました。

教育長 他にありませんか。全体的に、事務局の方から、委員の皆様から何かございませんか。(なし)
それでは、以上をもちまして、令和5年4月の定例教育委員会を閉会します。

(11時02分 閉会)